

C O N T E N T S

○ 連載：「私の好きなこの一曲」 Vol.3	会長 小川 理子	3P
○ オンライン遠隔合奏アプリケーション (SYNCROOM)		5P
— 場に縛られる合奏活動の解放で新しい音楽文化の醸成に挑戦 —		
	ヤマハ株式会社 マーケティング統括部 野口 真生	
	ヤマハ株式会社 電子楽器事業部 原 貴洋	
○ 「Genelec」だからこそできること		10P
	株式会社ジェネレックジャパン マーケティング・ディレクター 浅田 陽介	
○ 見たい聞きたい行きたいレポート		18P
	ユニバーサル ミュージック マスタリングスタジオ訪問	
	JAS 事務局長 照井 和彦	
○ 連載：「新会員紹介」 アリオン株式会社		22P
	アリオン株式会社 技術部 スーパーバイザ 酒井 五雄	
○ 【JAS インフォメーション】	2020 年度 理事会報告 (5 月持回審議)	26P
○ 編集後記	編集委員 仲田 剛	27P

5月号をお届けするにあたって

COVID-19 感染対策に関わる緊急事態宣言下での約 1 か月半の生活は、同宣言の全国的な解除で、ようやく一旦「息継ぎ」のできるタイミングをもらった気がします。今生きている誰もが経験したことが無い事態とは言え、しかし先の見えない、長い 1 か月半でした。筆者は毎日夕方に発表される感染者数の増減に一喜一憂しつつ、翌日も、またその翌日も、簡単な食事の調達以外にこれと言った外出もせずに淡々とテレワークでの仕事をこなす日々でした。ただ、そんな中でもいくつかの楽しみはあり、その一つが言うまでもなく「仕事しながらオーディオを聴くこと」であったことは、本誌を読まれている諸氏には多く賛同いただけることではないかと思っています。これから「コロナとの共存」による「新たな日常」を全国民で、あるいは全世界で模索することになると思われませんが、その姿の一つとして、「仕事しながらオーディオ」が、しっかりと定着すればよいなと感じています。

さて今号では、ヤマハ(株)様から「オンライン遠隔合奏アプリケーション(SYNCROOM)」を寄稿いただきました。「三密」を避ける「新たな日常」において、音楽文化（パフォーマーにとっても、リスナーにとっても）をしっかりと継承してゆくために、不可欠な技術になってゆくのだらうと思います。

また、(株)ジェネレックジャパン様、アリオン(株)様の寄稿も、それぞれ別の観点で今後のオーディオに関わる技術、商品を紹介いただきました。オーディオ環境をアップデートする良い機会と考えて、日々の楽しみの一つに加えられるてはいかがでしょうか。